



キャッチフレーズ

## ” まちはステージ ” サンクスフェスティバル

### 事業実施の背景

国内でも屈指の七夕まつりが開催される安城市。七夕まつり開催時には、100万人を超える人出で街は大いに賑わう。一方で、その賑わいは一過性のものであり、日常とはかけ離れていることから、日常のまちづくりのために何かできないだろうか、と考えた若手商業者らが商店街の枠を超えて集まり、検討を始めた。こうして、市民の「日常がこんなまちだったらいいな」との思いを具現化し、まちを市民の活躍の場とするイベントとして、平成10年に「サンクスフェスティバル」が産み出された。以降、毎年10月にJR安城駅周辺の6商店街が一体となって、その開催に取り組んでいる。

### 事業の概要

#### 【サンクスフェスティバル】 - 市民が主役のまちづくりイベント -

「サンクスフェスティバル」は、単なる商店街のお祭りではなく「まちはステージ」を合言葉に、市民や団体それぞれの理想とする街の姿のイメージや思いの普及啓発活動や実践に向けた実験的な取り組みの場とするイベントである。



参加者のテーマは、バリアフリー、食の安全・地産地消、国際交流、エコ、歴史文化から、交通安全まで幅広く、様々なイベントが街中で繰り広げられる。平成19年で10回目を迎え、毎年1万人以上が参加する市民が主役の祭りとして定着している。



産直市

バリアを探せ

回収されたペットボトル

### 事業の効果

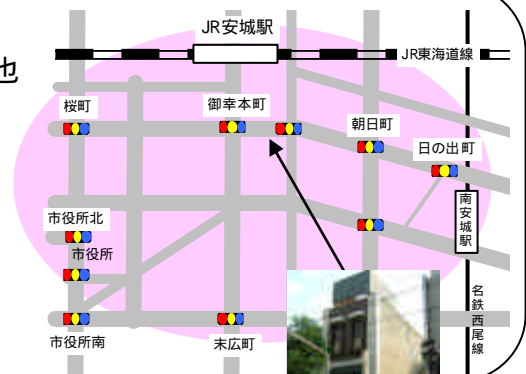
- ・ 「まちはステージ」とのコンセプトも浸透し、市民ひとりひとりが主役となり、まちづくりに取組んでいこうとの気運が醸成されている。
- ・ 産直市は当フェスティバルから始まり、現在は定期開催されるようになったほか、街のバリアフリー化を探すイベントで発見された店舗や施設のバリア改善が行われるなど、単なる実験にとどまらず、実際のまちづくりに活かされている。また、エココイン事業など、環境問題への市民の関心を高めることにも寄与している。
- ・ このイベント実施には、福祉や環境をテーマとした市民団体、学校教師、生徒など幅広く、多数の人や団体が主体的に参加、行政など関係者とも連携しており、ここからさらに新たなネットワークの輪が広がっている。

### 事業の課題

やはりイベントであることから、一過性になりがちな側面もある。楽しむことも大切だが、真に街づくりにつながる、地域に根ざした活動として、常に「原点回帰」を意識しながら取り組んでいく。

#### 商店街の基本データ

名称：安城中央商店街連盟 会長 鶴田伸也  
 (安城セントラル、御幸、朝日町、本通り、  
 花ノ木、日の出 商店街振興組合)  
 所在地：〒446-0032  
 安城市御幸本町16-5  
 電話：0566-77-0811  
 構成員：約440名



まちづくりの拠点施設  
 「安城クリエイションプラザ」